

+2023年6月14日

北総鉄道株式会社

取締役社長 室谷正裕 様

CC 県知事、北総線沿線6市長、京成電鉄社長

北総線の運賃値下げを実現する会 会長 太田 誠

北総鉄道株主総会での説明のお願い

日頃から、北総線利便性向上にご尽力いただきありがとうございます。

さて、まもなく御社の株主総会です。御社は今期、大きな二つの事業方針を打ち出されました。昨年10月1日施行の「運賃値下げ」と「千葉ニュータウン鉄道との間の線路使用料契約の変更」です。

運賃値下げは、御社主導の値下げは初めてのことであり、特に通学定期が1/3に値下げされた子育て世代からは高い評価を頂いており、御社の大英断でした。又後者もこれまで、不合理と批判を浴びながらも漫然と継続されてきた制度を変更されたものとうかがっており、その内容に期待しております。

これまでの因習を変革するような動きは、親会社京成電鉄の新京成電鉄完全子会社化等、京成グループのポストコロナ経営戦略の一環をうかがわせるものですが、これらの結果が利用者の利益に繋がるものであることを願うものです。

又、北総線の運賃値下げは大歓迎ですが、尚普通運賃は京成本線の2倍であり、「大幅運賃値下げ」は依然、住民利用者の切実な願いです。高運賃の抜本的改善には、北総線の国際空港アクセスに果たしている役割からして、国や県の支援は不可欠ですが、民間企業の自助努力の面でも、親会社京成との線路使用料や諸負担の合理的見直しにより、大幅な改善が可能と考えております。

つきましては、来る総会では、下記の点につきご説明いただけますようお願いいたします。

記

1. 株主総会において「千葉ニュータウン鉄道との線路使用料契約」の変更内容を詳しくご説明ください
2. 契約変更後、千葉ニュータウン鉄道区間を共用する京成電鉄との関係が、施設維持費用などの負担が不公正になっていないことをお示し下さい。(従来は北総鉄道だけが施設の保守等のコスト負担を担わされてきたと思われます)

以上